

第414号 (平成25年3月24日)

◎第456回例会 (平成25年3月24日 午後1時～)

場 所 : 三光荘 2階 アトリウムホール

講 演

演 題 「da Vinciを用いた婦人科がん手術」

講 師 東京医科大学産科婦人科学教授 井坂 恵一 先生

症例報告「待機的管理を試みた前置癒着胎盤の1例」

倉敷中央病院産婦人科 上田 あかね 先生

◎第457回例会予告 □

日 時 : 平成25年5月19日(日) 午後1時～

場 所 : 岡山衛生会館 5階 中ホール

1. 岡山県産婦人科医会総会

2. 岡山産科婦人科学会会計報告

3. 演題・講師

「日本産婦人科医会のこれから」

公益社団法人日本産婦人科医会 会長 木下 勝之 先生

◎保険だより

- 1) 排卵障害、月経異常、卵巣機能不全、黄体機能不全などの病名があれば、高プロラクチン血症(疑い)の病名がなくても、初診時のみプロラクチンが算定可能です。
- 2) 子宮腔部組織採取に際して、組織採取200点は算定できますが、子宮出血止血法(分娩外のもの)45点は算定できません。使用薬剤は算定できます。また、コルポスコープ下で組織検査をした場合には、コルポスコープ150点+内視鏡下生検法310点で請求可能です。
- 3) 細胞診とクラミジア核酸検出を同日に行った場合でも、子宮頸管粘液採取法は1日1回しか算定できません。
- 4) クラミジア頸管炎、淋菌性頸管炎などは治療終了後、速やかな転帰の記載をしてください。1年を超えても病名が残っている場合があります。
- 5) 子宮体癌疑い、子宮内膜増殖症、乳癌疑い、血液凝固異常疑いなどの病名があれば、卵巣ホルモン内服剤投与は禁忌となります。診察当日のエストリオール膣錠の挿入も禁忌です。病名の早期の転帰を記載してください。

◎妊産婦死亡例調査について

「妊産婦死亡例登録、調査」(妊産婦死亡とは妊娠の期間及び部位に関係なく、妊娠またはその管理に関連した、あるいはそれらによって悪化したすべての原因による妊娠中または分娩後42日以内における女性の死亡をいいます。)

死亡例発生の都度、速やかに山崎会長までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

◎おぎゃー献金について

プラスチック製の暖かみのある素敵な献金箱が出来ました。ご希望の方は当支部へお申し込み下さい。

かねてよりご協力願っております「おぎゃー献金」の入金には直接持参して下さるか、便利な中国銀行の振込用紙をご利用下さい。

(振込用紙、献金袋、受領証並びに感謝シールは当支部にございます)